

(国)帯広畜産大学・(株)檜崎製作所 パーラー排水処理設備共同研究

近年、酪農の大規模化と合理化が進められています。それに伴い、搾乳施設は、ミルクングパーラー型式へと急速に変化しています。そこで、パーラー排水による環境問題も注目され、将来の規制強化対象に盛込む検討がなされつつあります。

私たちは、搾乳施設から排出される、ミルクラーやバルククーラーの洗浄水、床洗浄水に加え、廃棄乳の処理が可能なパーラー排水処理装置を研究しています。



パーラー排水処理設備の特徴

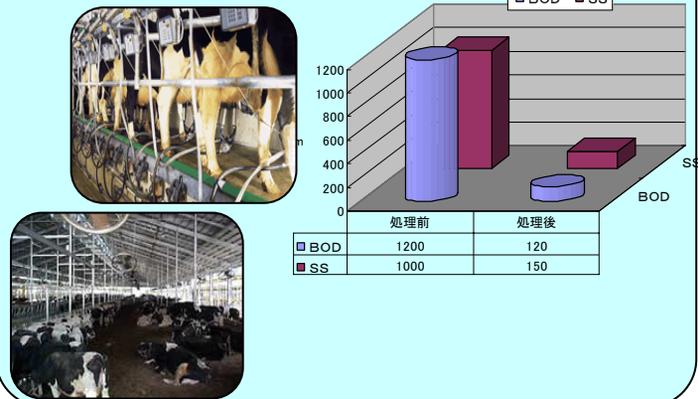
- ・乳成分を強力に分解する特殊菌使用
- ・低価格設定
- ・搾乳場の床洗浄作業により、糞尿が混入しても処理が可能
- ・ローメンテナンス
- ・操作が簡単
- ・処理水のリサイクルが可能
 - ①搾乳場の床洗浄水
 - ②牧場への還元
 - ③夏期パaddockへの散水
 - ④水洗トイレの洗浄用水
- ・処理された水は、河川への放流も可能です。
- ・薬品を一切使用していません。

・特許出願中



処理機能（乳牛1頭当たりの排水量21~36L/日の場合）

原水水質
BOD 平均1,200ppm
SS 平均1,000ppm
処理水水質(河川への一般放流基準値をクリア！)
BOD 平均120ppm以下(最大160ppm以下)
SS 平均150ppm以下(最大200ppm以下)



処理設備概要

